

外来語についての調査研究の発表物

この報告書に収録した研究成果のほか、我々は外来語に関する研究成果を発表してきた。その発表物の一覧を、論文等、講演等、広報誌等の3種類に分け、掲げておきたい。各種類の中の配列は、筆頭著者の50音順とし、筆頭著者が同じものは発表年次順とした。

論文等

- 相澤正夫「日本語コミュニケーションにおける外来語使用の功罪」『日本語コミュニケーションの言語問題』（第10回国立国語研究所国際シンポジウム報告書）、国立国語研究所、平成15年
- 相澤正夫「日本における『外来語』の状況」『世界の＜外来語＞の諸相―標準化・活性化を目指す言語政策の多様性』（第11回国立国語研究所国際シンポジウム報告書）、国立国語研究所、平成17年
- 相澤正夫「国際シンポジウム『世界の＜外来語＞の諸相』紹介」『国文学解釈と鑑賞』70-1、至文堂、平成17年
- 相澤正夫「『外来語言い換え提案』は何を目指しているか」『新「ことば」シリーズ19外来語と現代社会』国立印刷局、平成18年
- 朝日祥之「行政コミュニケーションにおける日本語の姿―広報紙を例に一」『日本語学』24-13、明治書院、平成17年
- 朝日祥之・吉岡泰夫・相澤正夫「自治体職員の行政コミュニケーションに見られる地域差」『日本語科学』17、国立国語研究所、平成17年
- 柏野和佳子・山口昌也・桐生りか・田中牧郎「新聞記事データベースを利用した外来語の出現率の推移調査」『自然言語処理』12-4、言語処理学会、平成17年
- 柏野和佳子「書き言葉コーパスで探る日本語のありさま」『日本語学』25-9、明治書院、平成18年
- 柏野和佳子「新聞でとらえる日本語の姿―記事データベースが明らかにする特徴とは―」『新聞研究』666、日本新聞協会、平成19年
- 杉戸清樹ほか「座談会：外来語と現代社会」『新「ことば」シリーズ19外来語と現代社会』、国立印刷局、平成18年
- 田中牧郎「『外来語言い換え提案』について」『日本語学』22-8、明治書院、平成15年
- 田中牧郎「外来語の言い換えと規範」『日本語学』24-10、明治書院、平成17年
- 田中牧郎「現代社会における外来語の実態」『新「ことば」シリーズ19外来語と現代社会』、国立印刷局、平成18年
- 吉岡泰夫「自治体と住民のコミュニケーションを円滑にする言葉遣いの工夫」『日本語学』24-13、平成17年

講演等

- 相澤正夫「日本語コミュニケーションにおける外来語使用の功罪」『第10回国立国語研究所国際シンポジウム第2部会 日本語コミュニケーションの言語問題（発表予稿集）』、平成14年
- 相澤正夫「『外来語』とどう付き合うか」（杉並区役所「ことばの見直し」講演会）、平成15年
- 相澤正夫「日本における『外来語』の状況」『第11回国立国語研究所国際シンポジウム 世界の＜外来語＞の諸相（予稿集）』、国立国語研究所、平成16年
- 相澤正夫「外来語の言い換え提案」（国立国語研究所第23回「ことば」フォーラム「外来語とどう付き合うか」）、平成16年
- 相澤正夫「『外来語』言い換え提案とそれを支える調査研究」、北京日本学研究中心講演会、平成16年
- 相澤正夫・朝日祥之・吉岡泰夫「行政コミュニケーションにおける外来語・略語・専門用語の問題点」『社会言語科学会第15回大会発表論文集』、社会言語科学会、平成17年
- 相澤正夫「国立国語研究所『外来語』言い換え提案の目的と意義」（言語政策学会第6回大会シンポジウム

「外来語問題と言語政策」), 平成17年

朝日祥之・吉岡泰夫・相澤正夫「自治体職員の行政コミュニケーションに見られる地域差」『日本方言研究会第79回研究発表会発表原稿集』, 日本方言研究会, 平成16年

朝日祥之「戦後の国語施策は外来語問題にどう対応してきたか」(言語政策学会第6回大会シンポジウム「外来語問題と言語政策」), 平成17年

柏野和佳子・山口昌也・桐生りか・田中牧郎「新聞記事データベースを利用した外来語の使用頻度の推移調査」『言語処理学会第10回年次大会発表論文集』, 言語処理学会, 平成16年

桐生りか・山口昌也「新聞に多用される外来語の分析一面種ごとの特化係数を用いて」『言語処理学会第12回大会発表論文集』, 言語処理学会, 平成18年

杉戸清樹「暮らしの中の外来語—その〈光〉と〈陰〉—」(国立国語研究所第28回「ことば」フォーラム「外来語の現在・過去・未来」), 平成17年

田中牧郎・桐生りか・茂木俊伸・山口昌也「行政外来語の実態と問題点」『社会言語科学会第13回大会発表論文集』, 社会言語科学会, 平成16年

田中牧郎「分かりにくい外来語」(国立国語研究所第22回「ことば」フォーラム「現代の外来語」), 平成16年

田中牧郎「外来語を分かりやすくするために」(全国家庭電気製品公正取引協議会講演会), 平成16年

田中牧郎「外来語の現状と対応—分かりにくい外来語を分かりやすくするために—」(杉並区ことばのフォーラム), 平成17年

田中牧郎「公共的な情報媒体における外来語使用の実態」(言語政策学会第6回大会シンポジウム「外来語問題と言語政策」), 平成17年

田中牧郎「技術リテラシーと外来語」(日本工学アカデミーシンポジウム「技術リテラシーと市民教育」), 平成17年

田中牧郎「外来語と上手に付き合おう」(立川市市民大学セミナー), 平成18年

田中牧郎「外来語の定着度」(日本行動計量学会第34回大会発表), 平成18年

田中牧郎「国立国語研究の『外来語言い換え提案』」(韓国・国立国語院講演), 平成19年

中山恵利子・桐生りか・山口昌也「学習者が新聞を読むための基本外来語の選定」(国立国語研究所平成17年度日本語教育短期研修(第5回)「語彙研究のためのコーパスの活用」), 平成18年

宮田公治・田中牧郎「外来語『リスク』とその類義語の意味比較: 既存の類義語を持つ外来語の存在理由」『言語処理学会第12回大会発表論文集』, 言語処理学会, 平成18年

茂木俊伸・山口昌也・丸山岳彦・田中牧郎「語種辞書『かたりぐさ』の開発と月刊雑誌の語種構成分析」『言語処理学会第11回年次大会発表論文集』, 言語処理学会, 平成17年

茂木俊伸「現代日本語の『語種』について—和語・漢語・外来語—」(スロベニア・リュブリアナ大学講演), 平成17年

山口昌也・茂木俊伸・桐生りか・田中牧郎「語種との関係に基づいた新聞記事における語彙の時間的变化分析」『社会言語科学会第13回大会発表論文集』, 社会言語科学会, 平成16年

山崎誠・小沼悦「現代雑誌における語種構成」『言語処理学会第10回年次大会発表論文集』, 平成16年

山崎誠「日常語と専門用語との接点—コンピューター用語の定着過程から—」『第17回専門用語シンポジウム』知識情報学会専門用語検討部会, 平成16年

吉岡泰夫・朝日祥之・相澤正夫「自治体首長・職員の行政コミュニケーション意識」『日本語学会2004年度秋季大会予稿集』, 日本語学会, 平成16年

吉岡泰夫・朝日祥之・相澤正夫「医師に期待する医療用語の使い方の工夫—『外来語に関する意識調査』にみる国民の意識—」『日本語学会2005年度秋季大会予稿集』, 日本語学会, 平成17年

吉岡泰夫「行政コミュニケーションの言語問題への自治体の対応と国民の意識」(言語政策学会第6回大会シンポジウム「外来語問題と言語政策」), 平成17年

YOSHIOKA, Yasuo. Language Problems in Loanwords and Language Policy in Japan. 2005 Rocky Mountain / Southwest Regional Japan Seminar, 2005, 平成17年

広報誌等

- 相澤正夫「国立国語研究所『外来語』委員会の設置」『国語研の窓』13, 国立国語研究所, 平成14年
- 相澤正夫「カタカナ語とどう付き合うか—相手とTPOをわきまえて使おう—」『社内広報情報源』891, 日本経団連社内広報センター, 平成15年
- 相澤正夫「国立国語研究所『外来語』委員会・活動報告 第1回の『中間発表』を行いました」『国語研の窓』14, 国立国語研究所, 平成15年
- 相澤正夫「第2回『外来語』言い換え提案をめぐって」『国語研の窓』18, 国立国語研究所, 平成16年
- 相澤正夫「『日本語の現在』をとらえる調査研究」『国語研の窓』20, 国立国語研究所, 平成16年
- 相澤正夫「日本語の“いま”をとらえる視点—国立国語研究所の活動から—」『現代用語の基礎知識2004』, 自由国民社, 平成16年
- 相澤正夫「『日本語の現在』をとらえる—最新情報の速報を目指して—」『文化庁月報』430, ぎょうせい, 平成16年
- 相澤正夫「『外来語』言い換え提案をささえる意識調査」『時報市町村教委』192, 全国市町村教育委員会連合会, 平成16年
- 相澤正夫「『外来語』言い換え提案はどう受け止められているか」『文化庁月報』438, ぎょうせい, 平成17年
- 甲斐睦朗「連載 外来語の現状とその解決のために」『文化庁月報』415～426, ぎょうせい, 平成15～16年
- 甲斐睦朗「外来語を言い換える試み」『社会保険』54-5, 財団法人全国社会保険協会連合会, 平成15年
- 甲斐睦朗「外来語を分かりやすい言葉に」『電気協会報』944, 社団法人日本電気協会, 平成15年
- 甲斐睦朗「分かりにくい外来語は使わないようにしたい」『税大通信』446, 国税庁税務大学校, 平成15年
- 甲斐睦朗「外来語を分かりやすい言葉に」『月刊ウェンディ』174, ウェンディ企画株式会社, 平成15年
- 甲斐睦朗「固有名詞に外来語を使わない」『時報市町村教委』189, 全国市町村教育委員会連合会, 平成15年
- 柏野和佳子「外来語の生命」『情報通信ジャーナル』24-1, 電気通信振興会, 平成18年
- 杉戸清樹「第11回国際シンポジウム報告 世界の〈外来語〉の諸相—標準化・活性化を目指す言語政策の多様性—」『国語研の窓』20, 国立国語研究所, 平成16年
- 杉戸清樹「グローバル化の中での現代日本語の問題」『ACADEMIA』95, 全国日本学士会, 平成17年
- 杉戸清樹「こちら国語研究所 わかりにくい外来語についての工夫」『NHKアナウンサーのはなす きく よむ「豊かな日本語編」』, 日本放送出版協会, 平成18年
- 田中牧郎「第1回『外来語』言い換え提案について」『国語研の窓』16, 国立国語研究所, 平成15年
- 田中牧郎「外来語『言い換え』話題学」『現代用語の基礎知識2004』, 自由国民社, 平成16年
- 田中牧郎「第3回『外来語』言い換え提案を行いました」『国語研の窓』21, 国立国語研究所, 平成16年
- 田中牧郎ほか「連載 なるほど言葉の万人向け設計 一点指南」『情報通信ジャーナル』22-11～24-12, 平成16～18年
- 田中牧郎「外来語はどれくらい理解されているか」『情報通信ジャーナル』23-1, 電気通信振興会, 平成17年
- 田中牧郎「外来語を分かりやすくするために」『情報通信ジャーナル』23-2, 電気通信振興会, 平成17年
- 田中牧郎「『外来語』言い換え提案 第1回～第4回 総集編—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—」『国語研の窓』27, 国立国語研究所, 平成18年
- 田中牧郎「『外来語』言い換え提案」『文化庁月報』452, ぎょうせい, 平成18年
- 田中牧郎「外来語の分かりにくさ」『文部科学教育通信』154, ジアース教育新社, 平成18年
- 田中牧郎「連載 続なるほど言葉の万人向け設計 カタカナ外来語言い換え道場」『情報通信ジャーナル』25-1～25-3, 電気通信振興会, 平成19年
- 山崎誠「外来語の取り入れ方」『情報通信ジャーナル』23-3, 電気通信振興会, 平成17年
- 吉岡泰夫「医療コミュニケーションの適切化に貢献する社会言語学的研究」『文部科学教育通信』152, ジアース教育新社, 平成18年
- 吉岡泰夫「医学・医療の専門用語」『国語研の窓』28, 国立国語研究所, 平成18年